

源空寺の御詠歌

松 濤 基 作曲
高 倉 美 代 子 振 付

準 備	正座し、扇を前に置き、合掌してから両手を膝におく	
唱え奉る 源空寺の	静かに合掌	
御詠歌に	右手で扇をとり、左手を添えて、左足をくずして立ち上がり、両手をももにつける。	
歌	舞	
ひ 	左手 袖口を持ち、横にかまえて、右手は扇を横下方から正面中央に向けて上げながら右足、左足と進み出る	
と	もう一步、右ツマ先を出して止まり、扇の先で前方	
	斜め上を指し、上を見る	
	右足を引きながら、扇を小さく顔と共に、右に動かす	
! ..	左足を引き扇を左へ、顔も共に動かす	
⊙ こ	左足を前に出しながら	
! ..	右手 扇を中央に下ろしながら右横へ	
え	途中で左手(袖口)も同じように左に開き 右足を前に出しながら両膝を曲げつつ両手を中央に寄せ	
も	腰を低くして、両手 斜め左右に大きく開き構える	
	顔を斜め右の方へ	
	左の方へとゆっくり	
	大きく動かす	
な む	右手の扇の要を前方にして倒し持ちながら、膝を伸ばしつつ、左足を右足に揃える	

歌	舞
あ	正面斜め上に向かって
―	
み	高く上げていく
だ ―	左手 袖口を離して
ぶ	上げていき
―	
と	合掌する
い	上を仰いだままで両手を
う	上礼に下ろして捧げる
―	
ひ	左手 そのままにして、右掌を左胸に向けて下ろし始める
と ―	左手を右胸に向けて、下ろし交差する
の	顔をふせる
―	
―	
は ち	胸前にて両手で扇を平らに開けながら
す	右足から歩いて右回り
―	
の	
う ―	
え	浅く斜め左向きに右足前にして
―	とまり
に	両膝を曲げる
―	

歌	舞
は	左手 斜め左下に、右足 斜め右向きに横に出し、扇の表を顔に近づけてくると返して銀色
ち	を上側にして前方に伸ばし、左足を右足の前に少し出し
す	左手掌を顔に近づけて、クルリと返して、扇の横に伸ばす
の	左右の手、伏せたまま、左の方に右手の扇を左肩の前で表を上に向けて
う	
え	腰を低くしながら右の方に運び見る
に	
(休)	
の	左足を斜め左向きに横に出し、両手肩の前、中礼に捧げ
ぼ	
ら	両手を合掌の位置に寄せながら
	右足を左足に揃え
	腰を曲げながら、扇の上に、左手片手合掌する
!	
!	
ぬ	右足を斜め右向きに横に出し
	「のぼらぬ」の動作を繰り返す
⊕ は	
な	左足右足と後退しながら正面に向き、両手ゆっくり横に向き
し	胸前に寄せながら、腰をおろしつつ右膝をつき
	扇の上に左手片手合掌し、ゆっくり顔を伏せ拝む
扇を中央に寄せながら閉じて、右手で「要」を持ち、左手で受けて膝の前に置く。 合掌を終り手は膝の上におく。扇を帯に差し合掌し退場する。	

ポイント注意

心をこめて南無阿弥陀仏とお唱えすれば、たとえ一声のお念仏であっても阿弥陀さまの本願のお力により、必ずお浄土の蓮の台にのぼらせていただけると思う心でお舞いください。

【ひとこえも…】 目線。この時、目線は扇の先を追います。

【(二回目の)はちすのうえに…のぼらぬはなし…】

扇の動き。扇を蓮に見立ててありますので平らに保ってください。